

2024年4月8日出来予定

調査されるという迷惑 増補版——フィールドに出る前に読んでおく本

宮本常一・安溪遊地 著 みずのわ出版 発行 A5判並製150頁



増補版の内容

ハンディなフィールド・ワークの手引として2008年の初版以来7刷を重ねた本書は、文化人類学や民俗学の初学者向け副読本としてだけでなく、理系のフィールド・ワーカーにも、地域づくりや援助、医療・看護・福祉のケアの現場でも広く読まれてきた。フィールド・ワークを今や誰もがする運転に例えるなら、この本は免許更新時に見せられる交通事故のビデオだ。今回の増補で、宮本常一の初めてのアフリカでの心あたたまるエピソードと、1978年からコンゴ民主共和国に通って「日系アフリカ人」となった安溪遊地・安溪貴子のアフリカ経験を加え、異文化体験の多彩さを踏まえて、万一の事故にも絶対にひき逃げしない覚悟はあるかを問う。

定価 税込1,650円(本体1,500円+税10%)

ISBN978-4-86426-052-7 C0039

- 序章 宮本常一先生にいただいた言葉 (安溪)
- 第1章 調査地被害——される側のさまざまな迷惑 (宮本)
- 第2章 される側の声——聞き書き・調査地被害 (安溪)
- 第3章 「バカセなら毎年何十人もくるぞ」 (安溪)
- 第4章 フィールドでの「濃いかかわり」とその落とし穴 (安溪)
- 第5章 種子島にて・屋久島からの手紙 (安溪)
- 第6章 まぼろしの物々交換を知夫里島に求めて (安溪)
- 第7章 「研究成果の還元」はどこまで可能か (安溪)
- 第8章 宮本常一・はじめてのアフリカ (宮本)
- 第9章 「いまここで」という暴虐からの解放 (安溪)
- 第10章 「父たち」の待つ村への旅 (安溪)

みずのわ出版 山口県大島郡周防大島町西安下庄 庄北2845

Tel/Fax 0820-77-1739 (地方小、JRC 取扱い品)